



# ぽっかぽか 11月 ひよこ組



寒い季節がだんだんちかづいてきました。戸外に出ることが増え、晴れている日には長久保公園や川沿いに出ています。屋上園庭も気持ちよく、ボールを追いかけたり滑り台などでたくさん身体を動かして遊んでいます！

洋服やおもちゃの着脱もだんだんと自分でやりたい！という姿が見られてきました。クラスでは子ども達のやりたい気持ちを大切にしながら、自分でできるところをサポートしているところです。今回は着脱の様子をご紹介します！

**【上着・シャツ】** 低月齢の子はオムツ台に寝かせると泣いたり、寝返りをしようとしています。オムツ台にモビールを設置したり手遊びやわらべうたを歌いながら着脱を行っています。  
そして「お着替えしようね」「ごろんするよ」など1つ1つの動作を言葉で伝えていくことで、安心して着脱ができるよう心掛けています。座れるようになった子は、大人が上着を子どもの頭にかぶせ、子どもが自分で引っ張って首を入れています。首が入った時に「ばあ」とわかりやすく伝えたり「顔が出たね」とたくさん褒めています。また、大人が腕を触ってみたり袖を引っ張って「腕をあげてみようか」と伝えることで自分で着脱できる方法を知らせています。

**【ズボン・オムツ】** ズボンやオムツを履くときは子どもがイスに座って足を自分で入れやすいよう、大人がズボンを広げます。足を入れる際、子どもが自分で足を上げられるよう、焦らずゆっくり声を掛けながら見守ります。足を通せたら膝の位置まで大人が持ち上げることで、子どもたちの手が届きやすく、自分で着脱できるよう促しています。

**【靴下】** 戸外に出ることが増え、靴下も自分で履こうと足に当てたり、大人が途中まで履かせると自分で持ち上げたりするようになってきました。脱ぐ時にはかかとまで下してあげることで子どもが自分で引っ張って脱げるようにしています。

**【自分のマーク】** オムツ箱、靴下、帽子入れなどには必ず名前とマークが書いてあります。子どもたちはまだ文字読むことができないため、自分の名前と一緒にマークが入っていると子どもはマークを目印に「これは自分のもの」と認識できるようになります。今、ひよこ組の子どもたちも少しずつ自分のマークに興味が出てきています。着脱やオムツを替える際にオムツ箱に貼ってあるマークを見て指差しをして大人に「ん！」と知らせたり、自分でオムツを取り出し大人に渡す姿が見られます。



「自分でやりたい！」という意識、意欲が強くなってきています。子どもの成長に合わせて何度も繰り返し挑戦し、その都度たくさん褒めることで子どもの達成感、やる気に繋がっていきます！

着脱が上手くできなくても無理強いせず、やろうとする気持ちを大切に「頑張ったね」「上手だね」などたくさん褒めてあげてください♪